

一、夏の国体開く

— 岐阜 卓 —

目にしみるような秋空の下、第二十回国民体育大会は十九日岐阜県営プールを主会場に四日間の幕をあげました。

君が代行進曲の中を鹿兒島県を先頭に四十六都道府県の選手団が入場、郷土の榮譽をかけ、水泳、ボートなど熱戦をくりひろげました。

一、おしゃれの季節がやってきた

「美味いゝなす芸術の秋」——女性にとって楽しいシーズンです。

街角にも、ショーウインドにもおしゃれ用品があふれています。そして、美しさを求めてやまない女性の目、これを色どる華やかなファッション・ショー。

いよいよおしゃれの季節がやって来たようです。

カメラ・ルポ

隅田川の漁師

東京の下町、隅田川ぞいの永代町は漁民の町でした。今では漁師は三軒しか残っていません。東京都の発展によれば隅田川の酸素量はゼロ、つまり魚も貝も窒息してしまふ文字通り死の川となりました。工場と家庭から流される莫大な汚水は隅田川に流れ込み、東京湾へと注ぎ東京の海と河を汚してしまいました。

粟竹さんの一家は江戸時代から隅田川に住みつきいままも東京湾に漁に出ています。東京港の九割は都に買上げられ埋立てられることになりました。三十八年保障金を手にして大半の人が岡に上ってしまいました。

粟竹さんは保証金でアパートを建て生活のかたをそこから得ていますが、どうしても海を忘れることが出来ずまだ海に出ています。だがそれもまもなく埋められたら、出来なくなるのです。